

電圧差動継電器検査成績書

納入先 _____

検査期日 年 月 日

工事番号 _____

形 式	EDA-1S1	定 格 電 圧	V	定 格 周 波 数	Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	— A	動 作 表 示 器	DC 100/110 V
制 御 電 圧	JEC-174	整 定 範 囲	~ V	動 作 電 圧	ΔV V
				制 御 電 源	DC V

試験項目・試験結果

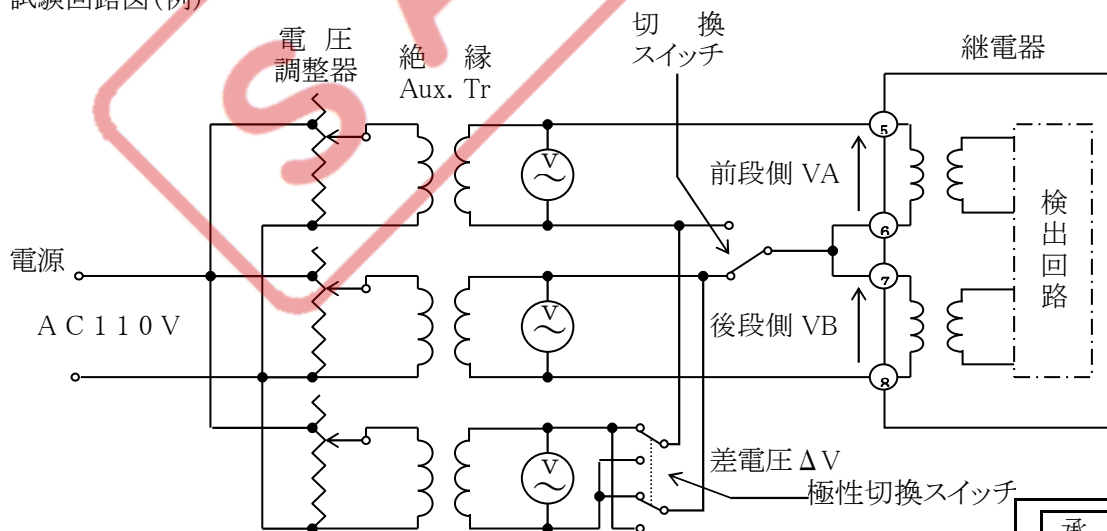
温度 °C 湿度 %

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 検 査	構造・外観・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括・外箱間: 10 M Ω 以上(規格値)	
耐 電 圧 試 験	回路一括・外箱間: 2.0 kV 60 Hz 1分間	
平 衡 試 験	(1) 整定=0V, $V_A = V_B =$ 定格電圧を加えておき、電圧平衡微調を調整して、バランス確認用メータの平衡がとれること。 (2) 各整定に於て、 $V_A =$ 定格電圧、 $V_B =$ 定格電圧+整定値相当の差電圧(誤差 $\pm 10\%$)でバランス確認用メータの平衡がとれること	
特 性 試 験	(注) 下記項目の試験を実施する。	

製 造 番 号						許 容 誤 差
器 具 番 号						
動作値 ($\Delta V = V_A - V_B $) 整定=0V, $V_A = V_B =$ 定格電圧の状態より V_A 又は V_B を除々に下げていく	前段側	V	V	V		公称値の $\pm 10\%$ 以内
	後段側	V	V	V		
動作時間 整定=0V, $V_A = V_B =$ 定格電圧の状態より V_A 又は V_B を零電圧に急変する	前段側	s	s	s		0.8~1.2s
	後段側	s	s	s		

備 考

試験回路図(例)



承認	作成